

議場燃える 白熱の議論

大学の候補地調査費をめぐり議論

令和８年度北上市一般会計補正予算（第５号）

大学候補地の基礎的条件調査（建築規制、交通アクセス、整備費用など）および市民ワークショップ運営などの業者委託費と検討会議委員への謝金、旅費など
５９６万８千円

調査費を削除する修正案は否決、原案を可決

ユーチューブ「9月通常会議」

主な質疑や討論

Q **調査対象候補地数と最終選定数は。一カ所に絞り込まないのではこの事業の意味がないのでは。**

A 実現性の高い候補地を複数選定する方が合理的である。

Q **企業の研究テーマによっては場所や面積の要件が変わる可能性があるが、ニーズ調査は行ったか。**

A 研究テーマが確定していなくても場所の選定は可能と考える。

Q **大学設置が 2050 年問題の最適解かを最優先で検証すべきではないか。**

A 他の行政サービスを支えるためにも産業政策をさらに強化する必要があり、その有力な手段として大学設置を検討している。

「大学整備候補地の検討にかかる補正予算を削除する修正案」
三宅靖議員、千田優子議員、八重樫民徳議員、梅木忍議員、安徳壽美子議員、星敦子議員

研究テーマによっては、街中や住宅地に近い場所での研究室設置が難しくなる可能性もあり、場所の選定を先行することには無理がある。また、すでに市民ワークショップで場所について議論しており、さらに外部委託することは費用や労力の面でも無駄が多い。そもそも２０５０年問題の整理や具体的な課題も示されていない。

北上市が持続可能なまちとなるため、まずは課題を明確に整理すべき。

そのうえで大学設置が費用対効果の面で最適な解決策なのかを検討すべきで、大学が最適解でなければこの事業費は無駄になる。場所の検討に予算や労力を費やす段階ではない。

修正案に対する質疑【小原享子議員】

Q **場所の検討は、大学設置を検証するための前提条件と考えるがどうか。**

A 大学はいったん作ったら止められない施設であり、慎重に進める必要がある。

Q **課題を全て明らかにしてからでは、手遅れになる可能性があるのでは。**

A 市長が大学だけですべて解決できるわけではないと答弁したように、他の対策も早急に検討すべき。

大学整備候補地検討の補正予算を削減する修正案に賛成討論

大学による人材育成や企業競争力の強化、新産業創出などを掲げているが、市の財政負担は起債償還の上振れが見込まれ、整備費も 117 億円から 182 億円へと大幅に増加している。北上市の財政力に見合った事業なのか、十分な検証が必要である。市民の疑問の声も強まっていることから、市長選挙で市民の判断を仰いだうえで事業の是非を判断すべきである。



平野明紀議員

大学整備候補地検討の補正予算を削減する修正案に反対討論

黒工、工業団地、さくらホールなど、これまでも巨額プロジェクトを推進してきた北上市には、できない理由ではなく、できる方法を考え、未来のために挑戦する「北上スピリッツ」がある。大学は工業のまちの本気度を示す一手だ。



白鳥顕志議員



藤原慶議員

大学設置が将来の北上市にとって最適な選択か判断するため、専門的な調査が必要である。今回の調査は、これまでの成果を候補地ごとの条件や費用の比較など、具体的な判断材料にする役割がある。



佐藤恵子議員

市の施策に充てる財源は増加し、財政運営の自由度も高まっている。大学整備費 182 億円のうち、国の補助金 20 億円、借入 143 億円、残る 19 億円を一般財源で賄っても、健全な運営が見込まれる。

条例

市長・副市長の給与を減額

北上市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償条例の一部を改正する条例

地域支援事業の消費税の取り扱い誤りにより公金の不適正な支出を招いたとして、令和8年10月の給与月額を、市長は10分の1、副市長は20分の1の減額をするもの。

Q 減給率が異なるのはどのような判断か。

A 事案発生期間に副市長は就任していなかったことを考慮した。

北上市景観条例の一部を改正する条例

景観法の一部改正に伴い、引用条項の改正をするもの。

いずれも全会一致で可決しました。

第315回
7月臨時会議

物価高騰対策の補正予算を可決

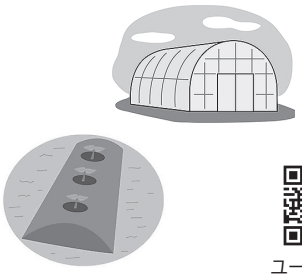
令和8年度北上市一般会計補正予算（第4号）

農業資材価格高騰緊急対策費補助金（1102万6千円）

令和8年4月から9月までに購入した農業資材について、購入実績額に価格上昇率30％を乗じた額の4分の1を補助。

Q 肥料や燃油にも支援が必要では。

A 今回はナフサ由来資材への支援を優先した。今後も状況に応じて支援先を考える。



ユーチューブ「7月臨時会議」

地域の声を決算審査へ！
全議員で16地区の声を聴きました

あなたの地区の課題は何ですか？



相去地区でのヒアリングの様子

7月1日から8月3日にかけて、地域ヒアリングを実施し、各地域から多岐にわたる要望や意見などをいただきました。集約した88件の地域の要望・意見を基に各常任委員会で課題を整理し、9月通常会議で令和7年度決算審査に活かしました。

決算審査での質疑の内容は、後日各地区にお知らせするとともに、ホームページにも公開する予定です。

地域づくり交付金の拡充を
黒東 飯豊 稲瀬

保健推進員・食生活改善推進員の役割の整理を
黒東 立花 黒岩

部活動地域移行 受け皿・指導者確保を
飯豊 江釣子

ごみ分別ルール 外国人へ周知を
黒西 鬼柳

農業の担い手への支援を
更木 口内 鬼柳 藤根

クマ・シカ・イノシシなどの被害対策強化を
立花 口内 稲瀬 鬼柳 和賀

生活道路の早期整備を
黒北 黒東 立花 飯豊 口内 稲瀬 相去 藤根

危険空き家の対策強化を
立花 口内 和賀

閉園・閉校施設の活用 地域意見の反映を
更木 口内 黒岩

クマ被害防止のためスクールバス活用を
飯豊 立花 岩崎 黒岩

自治会長の役割・責任の明確化を
黒東 立花 飯豊 二子 黒岩 稲瀬 岩崎 藤根

市職員が地域活動に参加しやすいしくみづくりを
黒北 立花